

## 平成 28 年度 実施結果の概要 及び 平成 29 年度事業計画 (案)

第 3 次事業計画 (H26-H28) 事業名	3 か年の目標	平成 28 年度計画	平成 28 年度の実施結果	平成 29 年度計画 (案)
3 節-1 豊かな漁場への 改善の取組	漁場改善効果の検証 と漁業者グループ・ 漁協・地元市及び県 との協力による漁場 改善の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者と連携した覆砂場所のモニタリングの継続 (生物調査、底質調査)</li> <li>2. 漁業者グループによる干潟保全活動の支援 (覆砂、海底耕うん、害敵生物の駆除等)</li> <li>3. 漁業者による漁場環境改善対策 (水流発生装置の設置による水質・底質の改善) の支援</li> <li>4. 覆砂等地盤嵩上げによる漁場改善効果の検討</li> <li>5. 「三番瀬漁場再生事業連絡協議会」の運営支援</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者と連携し、平成 23, 24 年度に実施した覆砂場所のモニタリング調査 [資料 2] <ul style="list-style-type: none"> <li>・底質調査 (平成 28 年 8 月 4 日実施)</li> <li>・二枚貝等の生物調査 (偶数月に実施)</li> <li>・アオサ発生状況の確認</li> </ul> </li> <li>2. 漁業者グループによる干潟保全活動 [資料 3] <ul style="list-style-type: none"> <li>・海底耕うん及びツメタガイ駆除の実施</li> <li>・覆砂 (1 グループ : 300m<sup>3</sup>) (市川市が 4, 988m<sup>3</sup> の覆砂を実施)</li> </ul> </li> <li>3. 漁業者による漁場環境改善対策 [資料 4] <ul style="list-style-type: none"> <li>・船橋港内に水流発生装置 2 台を設置し、基本的性能を確認した。</li> </ul> </li> <li>4. 覆砂等地盤の嵩上げによる効果検討 [資料 2]</li> <li>5. 「三番瀬漁場再生事業連絡協議会」の運営支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 8 回連絡協議会 : 平成 29 年 3 月 17 日開催予定 (H28 結果、H29 計画 (案))</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者と連携した覆砂場所のモニタリングの継続 (生物調査、底質調査) 及び漁場改善効果の検討</li> <li>2. 漁業者グループによる干潟保全活動の支援 (砕石覆砂、海底耕うん、害敵生物の駆除等)</li> <li>3. 漁業者による漁場環境改善対策 (水流発生装置の設置による水質・底質の改善) の支援</li> <li>4. 「東京湾北部浅海漁場再生事業連絡協議会」の運営支援</li> </ol>
3 節-2 ノリ養殖業・貝類 漁業対策	漁場特性や環境変化 に対応したノリ養殖 管理の実践と二枚貝 の増産対策の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノリ芽健全度調査、水質、栄養塩等の情報提供及び現地指導の実施</li> <li>2. 漁業者と連携した貝類資源調査の継続及び網袋によるアサリ育成技術開発試験の実施</li> <li>3. ハマグリ人工種苗の育成技術開発 (着底期から殻長 1mm 程度までの好適な飼育条件の把握)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 養殖管理情報の提供や現地における技術指導を実施 [資料 5]</li> <li>2. (1) 貝類資源調査 (漁業者と連携し偶数月に実施) [資料 6] (2) アサリの冬季減耗対策 [資料 7] <ul style="list-style-type: none"> <li>・種苗の適正収容密度は網袋 1 袋あたり 1. 0kg≒1. 5kg&gt;2. 0kg であった。</li> </ul> </li> <li>3. 3 種類の飼育餌料生物を用いて好適な餌料を調べたところパプロバ・ルテリを用いた試験区が最も高い生残率を示した。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノリ芽健全度調査、水質、栄養塩等の情報提供及び現地指導の実施</li> <li>2. 漁業者と連携した貝類資源調査の継続</li> <li>3. 網袋によるアサリ生産技術の普及及び養殖試験の実施</li> <li>4. ハマグリ種苗量産化に向けた育成技術の開発</li> </ol>
4 節-11 貧酸素水塊情報 の高度化	高精度な貧酸素水塊 情報の提供と浅海域 漁場の有効利用の 推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者との共同調査による「貧酸素水塊分布予測システム」の運用</li> <li>2. 干潟域への青潮波及による影響予測の高精度化と漁場改善シミュレーションシステムの開発</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者との共同調査を実施し、4 月から 12 月に計 25 回の貧酸素水塊速報を发出 [資料 8]</li> <li>2. (1) 市川航路、船橋航路で水質鉛直観測を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6~11 月に局所的な貧酸素化を確認 [資料 9]</li> </ul> (2) シミュレーションシステムによる干潟の青潮波及予測の検証 [資料 10]</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 漁業者との共同調査による「貧酸素水塊分布予測システム」の運用</li> <li>2. 干潟域への青潮波及による影響予測の高精度化と漁場改善シミュレーションシステムの開発</li> </ol>